



### プラスの連鎖が社会を変える

人口減少時代は、従来の社会保障の制度を根幹から揺るがすほどのインパクトを与えることが予想されます。今のままでは、多くの国民には、厳しい将来が待っているかもしれません。在宅医療に従事しながら、いつもこの社会課題を考えてきました。

限られた予算、限られた人材で、どのように活動を展開すれば良いのかと考えたとき、小さな力で、大きな変化が得られるように、プラスの連鎖を起こしてみたいと思いました。

苦しんでいた人が、誰かとの関わりを通して穏やかになれたならば、きっとその人は、次に会う他の誰かに優しくなれると思うのです。苦しかった時、関わってくれる誰かの存在は、暗闇の中で小さな灯りかもしれません。その灯りをそれぞれの地域に増やしていけるように、プラスの連鎖が社会を変えていくことを夢見ています。

苦しんでいる人は、自分の苦しみをわかってくれる人がいると嬉しい

どんな人がわかってくれる人になれるのか？

それは聴いてくれる人

苦しみは希望と現実の開き

解決できる苦しみは、解決できるように関わる

しかし、全ての苦しみを解決できるとは限らない人は苦しみを通して学ぶことがあります

何気ない人の優しさが嬉しいこと

そばに家族がいるだけで穏やかになれること

見過ごしていた庭の花に心打たれ

聴き逃していた音楽に涙を流し

自分自身の存在を認めてくれるつながりを得た人は穏やかさを取り戻します。

人生の最終段階に対応できる人材育成で伝えて来たことは、そのままいのちの授業として、子どもたちに伝えて来た内容でもあります。

現在、各地域で伝えることができるように”いのちの授業プロジェクト”を開始しています。まずはエンドオブライフ・ケア協会の仲間に伝えていきますが、いずれは、各地域でこのテーマに関心を寄せて頂く皆さんに使って頂けるように、プラスの連鎖がおきるようにと夢見しております。

小澤竹俊

### 世代地域リーダー1day セミナー開催

多職種連携チームで動く社会の中にあつて、医師の役割は極めて大きいと感じています。最終責任は医師が担うことになり、そして、孤独と闘わなくてはならないこともあります。その一方、どれほど看護師、薬剤師、リハ職や、ケアマネ、介護職が、本人・家族の希望を支援していたとしても、主治医の方針で希望が叶わなくなることがあります。

医師を変えるのは、本来は患者さん・家族かもしれませんが、しかし、どちらかという閉鎖的で、フィードバックのかかりにくい医師を変えていくのは、同じ職種の医師であると考え、以下の1day セミナーを企画しました。悠翔会の佐々木先生、新宿ヒロクリニックの英先生、そして私の3人の医師にM3の青木さんを加えた豪華メンバーです。

これからの時代に求められる次世代地域リーダーを目指すために、第1線の医療現場で走ってきたトッププランナーとガチンコで夢を語り合い、それぞれのミッションを新たにしてみませんか？なお、対象は医学生、研修医、医師となりますことをお許しください。

#### 次世代地域リーダー1day セミナー

<日時> 2018年7月8日（日）10：00～17：00

<会場> アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

<参加費> 無料

<https://krs.bz/m3career/m?f=1379>

### 診療実績

	2006- 2017年	2018年 1月	2018年 2月	2018年 3月	2018年 4月	2018年 計	総計
訪問回数	60,113	856	815	901	841	3,413	63,526
自宅永眠	1,985	28	26	14	18	86	2,071
施設永眠	281	4	5	6	6	21	302
在宅 (自宅+施設)	2,266	32	31	20	24	107	2,373
病院永眠	594	14	9	7	11	41	635